

製品名: GABAA R α 4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11234**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	GABRA4
別名	GABRA4; Gamma-aminobutyric acid receptor subunit alpha-4; GABA(A) receptor subunit alpha-4
遺伝子 ID	2557.0
SwissProt ID	P48169
免疫原	抗血清はヒト GABRA4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 81-130

背景

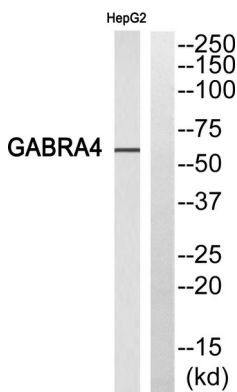
γ -アミノ酪酸 (GABA) は哺乳類の脳における主要な抑制性神経伝達物質であり、リガンド依存性塩素イオンチャネルである GABA-A

受容体に作用します。これらのチャネルの塩素イオンコンダクタンスは、GABA-A受容体に結合するベンゾジアゼピンなどの薬剤によって調節されます。GABA-A受容体には少なくとも16の異なるサブユニットが同定されています。この遺伝子は、自閉症の病因に関与するサブユニット $\alpha 4$ をコードしており、最終的には別のサブユニットである γ -アミノ酪酸受容体 $\beta 1$ (GABRB1)との相互作用を通じて自閉症のリスクを高めます。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq提供、2011年2月],機能:脊椎動物の脳における主要な抑制性神経伝達物質であるGABAは、GABA/ベンゾジアゼピン受容体に結合し、必須塩素イオンチャネルを開くことで神経抑制を媒介する。誘導: $\alpha 4\beta 2\gamma 2L$ 受容体はジアゼパムによって抑制されない。、オンライン情報:Forbidden fruit - 2005年3月号第56号,類似性:リガンド依存性イオンチャネル(TC 1.A.9)ファミリーに属する。、サブユニット:通常は5量体。GABA(A)受容体鎖には、 α 、 β 、 γ 、 δ 、 ρ の5種類がある。、

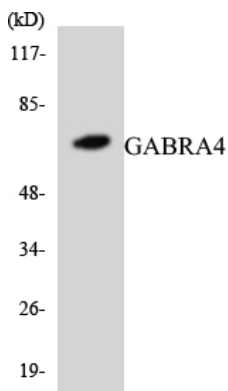
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

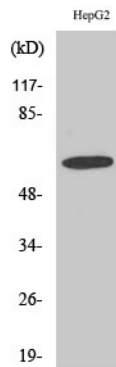
画像データ



GABRA4抗体のウェスタンブロット解析。右レーンはGABRA4ペプチドでブロッキングされている。



GABRA4抗体を使用したCOLO205細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



1: 1000 希釈の GABAA R α 4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析